

コストダウンとは

1. コストダウンとコストダウン手法の関係

コストダウンとコストダウン手法の関係

コストダウン = 生産性向上 + リードタイム短縮 + 購入品費削減

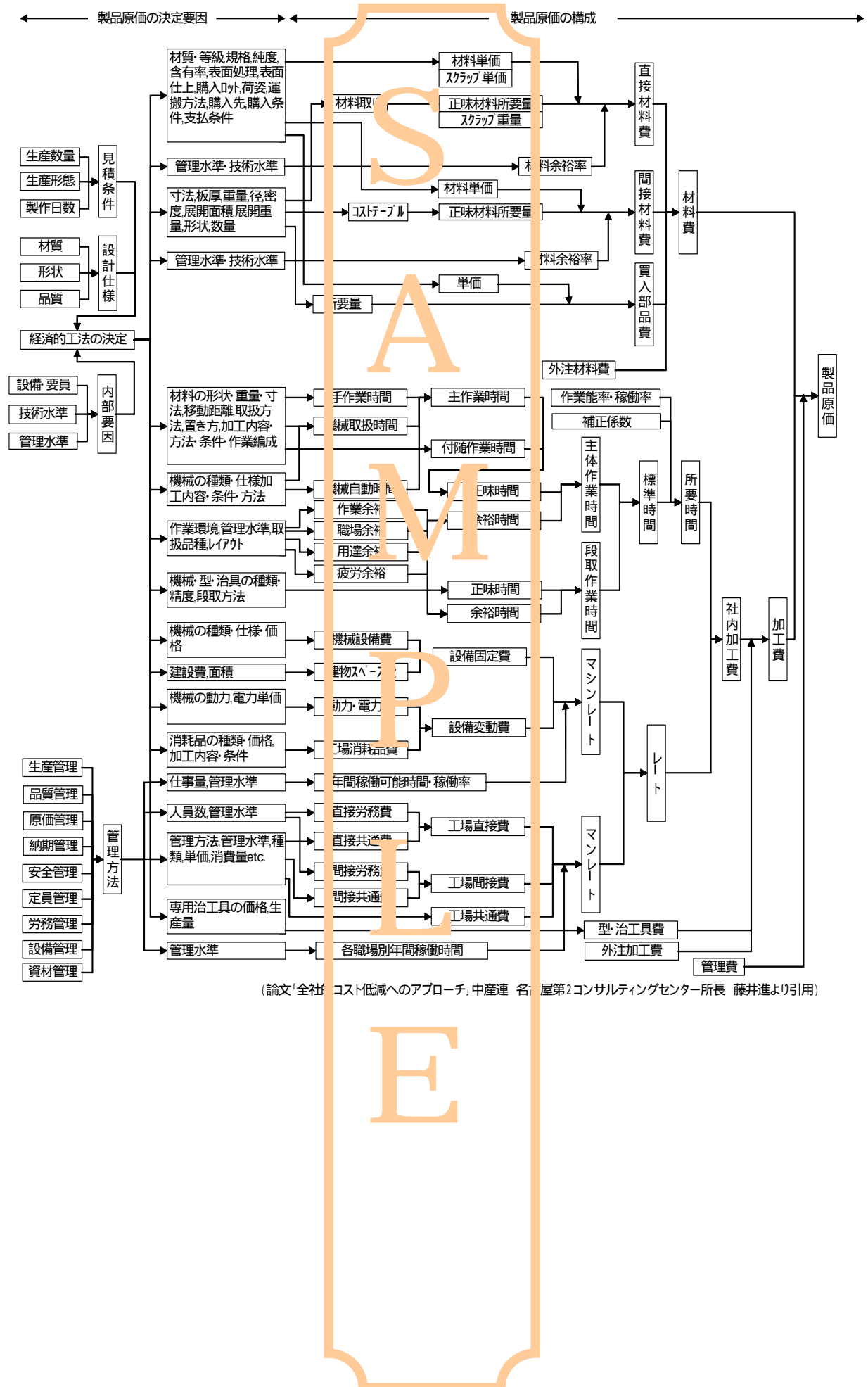
項目	概念	視点	手法
生産性向上	産出 (output) = 生産量の最大化 投入 (input) = 4M - 物的・価値(金額)生産性 - 労働・資本生産性	・不良手直し削減 ・工数削減 ・生産量増大	・IE、トヨタ生産方式 ・TPM ・自動化・無人化 ・QC/QA、ISO9000 ・標準化・多能工化
リードタイム短縮	お客様からお客様までの対応時間の短縮 - 受注から検収まで - 各プロセスの期間短縮 - クレーム受付から処置完了まで	・停滞・仕掛削減 ・段取替時間の短縮 ・待ちロスの削減	・JIT、トヨタ生産方式 ・C/E、F/L ・巻き紙分析
購入品費削減	外部購入品費削減 - 原材料・部品・外注費 購買プロセスの見直し	・歩留向上 ・パートナー選定 ・単価交渉 ・不良削減	・VA/VE ・QC/QA、ISO9000 ・パートナーとの共創

JPC-SED 藤本 忠司氏資料より

原価構成と改善手法の関係

原価構成		改善手法	主担当部門							
			製造	生産技術	設計	工程管理	資材購買	品質管理	営業・管理	
総原価	材料費	VA/VE								
		歩留向上								
		資材購買価格低減								
		不良材料低減								
	外注加工費	内外作計画								
		外注単価低減								
	直接人件費	IE・QC手法による作業改善								
		自動化・設備改善								
		VA/VEによる加工工数削減								
		設計効率化								
	間接人件費	平準化・手待ち削減								
		5Sによる探し削減								
		マテハン改善								
		欠品対策								
	製造経費	業務改善								
水道光熱費等の節約										
販売費・一般管理費		業務改善								
		利益								

製品原価の決定要因と構成(例)



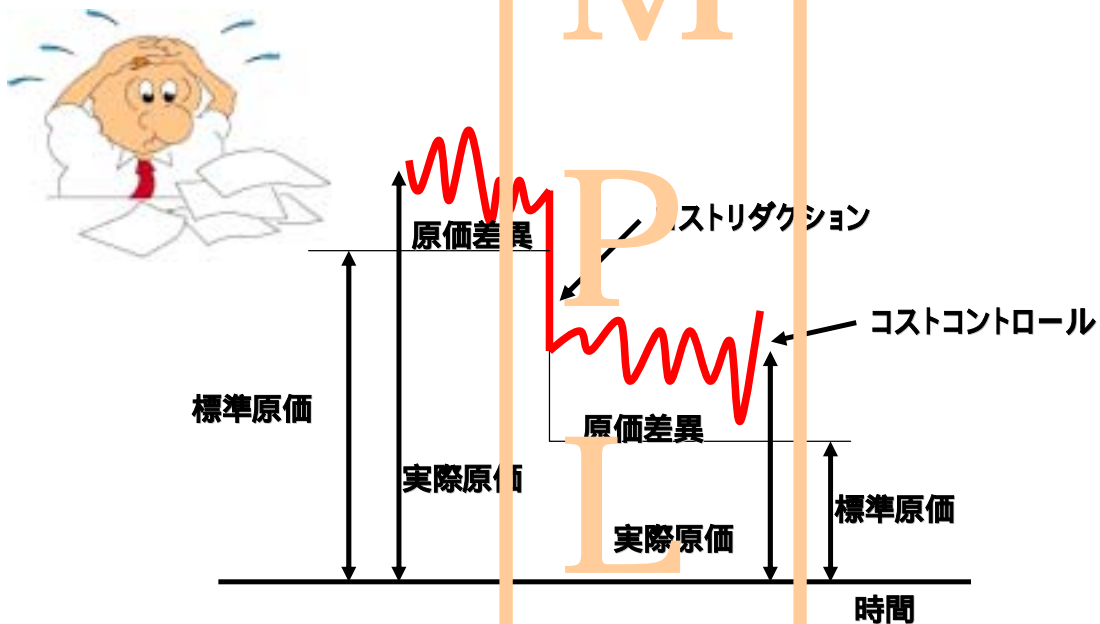
(論文「全社コスト低減へのアプローチ」中産連 名古屋第2コンサルティングセンター 所長 藤井進より引用)

2 . コストダウンと原価管理の関係

(1)原価管理(Cost Management)の目的

会社の利益 (= 売上 - 費用(原価)) を正しく把握 (管理) する
製品市場戦略の基礎資料とする (製品(群)別・市場別利益管理)
利益責任を明確にし、業績を評価することにより、各部門担当者の自律的活動を促す (製品別・部門別利益管理)
製造部門のコストダウンを加速・推進させる基礎資料とする (コストダウン・ポイントの明確化)
受注時の判断基準とする (見積原価による受注選別)
内外作の判断基準とする
新製品開発を成功に導く (原価企画の設定・管理) 等々

コストダウンと原価管理の関係



原価計算の概念

原価計算には総合原価計算・個別原価計算、全部原価計算・直接原価計算、製品別原価計算、部門別原価計算、期間原価計算等、多くの方法・用語があります。また直接費・間接費の区分、どこまでを直接的にデータを取り、どこを配賦原価とするのか等、計算（データ集計）の詳細さのレベルも多種多様な考え方があります。要はその会社で利益が管理できる最も効率的な方法（システム）を作ることです。

1. 原価の構成

(1) 財務諸表上の原価構成

貸借対照表 (B / S)

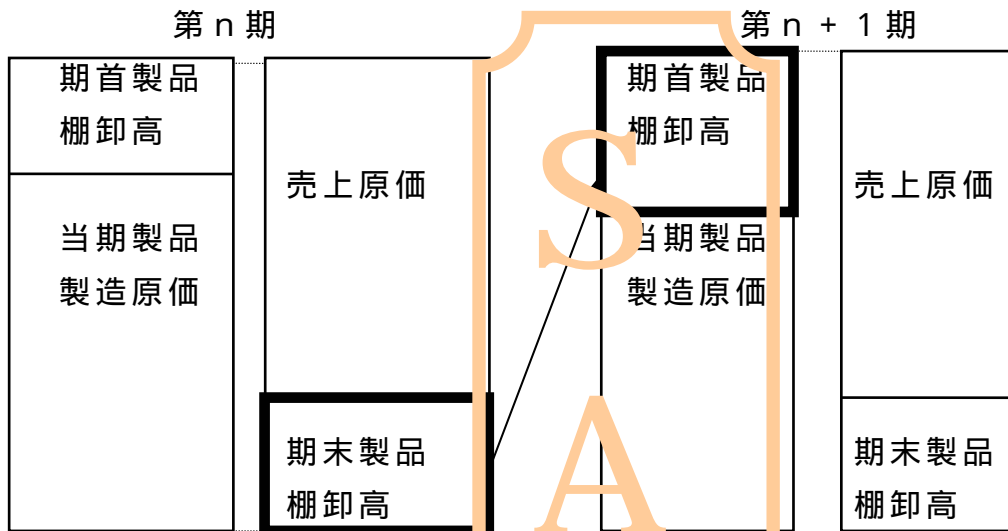
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	× × × ×	流動負債	× × × ×
現金預金	× × ×	支払手形	× × ×
受取手形	× × ×	買掛金	× × ×
売掛金	× × ×	短期借入金	× × ×
製品	× × ×	未払金 諸税金	× × ×
仕掛品	× × ×	前受金	× × ×
原材料・貯蔵品	× × ×	その他	× × ×
その他	× × ×	固定負債	× × × ×
貸倒引当金	× × ×	長期借入金	× × ×
固定資産	× × × ×	退職給与引当金	× × ×
有形固定資産	× × × ×	その他	× × ×
建物・構築物	× × ×	(資本の部)	
機械・装置	× × ×	資本金	× × ×
工具・器具・備品	× × ×	法定準備金	× × ×
土地	× × ×	資本準備金	× × ×
その他	× × ×	利益準備金	× × ×
無形固定資産	× × ×	剰余金	× × ×
電話加入料	× × ×	別途積立金	× × ×
その他	× × ×	当期末処分利益(損失)	× × ×
投資等	× × ×		
投資有価証券	× × ×		
その他	× × ×		
繰延資産	× × ×		
開発費	× × ×		
合計	× × × ×	合計	× × × ×

損益計算書 (P / L)

(営業損益の部)		
売上高	× × × ×	
売上原価	× × × ×	
販売費及び一般管理費	× × ×	
営業利益 (損失)		× × ×
(営業外損益の部)		
営業外収益		
受取利息・配当金	× × ×	
その他営業外収益	× × ×	
営業外費用		
支払利息	× × × ×	
その他営業外費用	× × × ×	
経常利益 (損失)		× × ×
(特別損益の部)		
特別利益		
固定資産売却益	× × × ×	
特別損失		
固定資産除却損	× × × ×	
税引前当期利益 (損失)		× × ×
法人税等充当額	×	
当期利益 (損失)		× × ×
前期繰越利益 (損失)	× × ×	
当期末処分利益 (損失)		× × ×

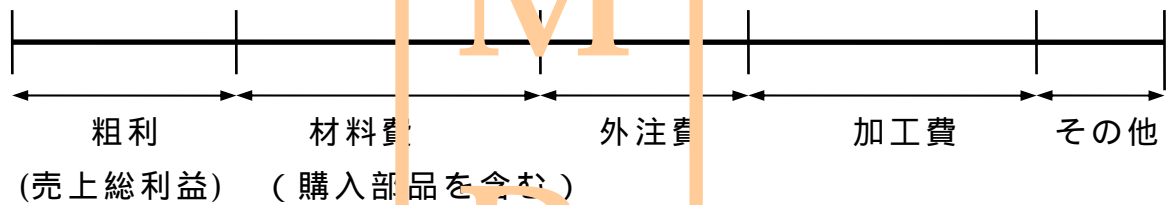
製造原価報告書 (C / R)

材料費	× × × ×
外注加工費	× × × ×
労務費	× × × ×
経費	
減価償却費	× ×
支払電力料	× ×
修繕費	× ×
その他	× × ×
経費合計	× × × ×
当期製造費用	× × × ×
期首仕掛品棚卸高	× × ×
期末仕掛品棚卸高	× × ×
当期製品製造原価	× × × ×



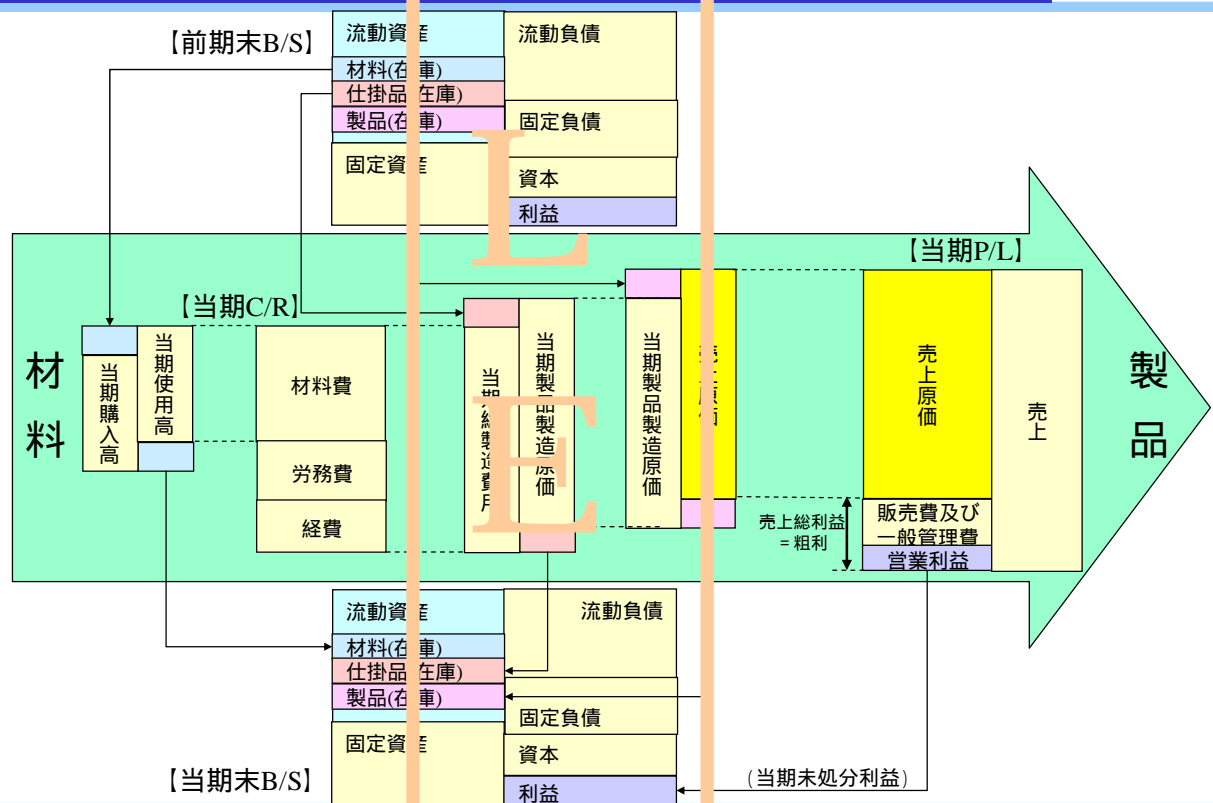
(2) 製品から見た原価構成

売上高 売上原価



製造原価(C/R) P/L・B/Sの関係

9



2. 原価の分類

(1) 直接費と間接費（製品との関連性による分類）

直接費 原価を計算する対象（原価計算対象）に対しての直接的な関係が明らかな原価

EXP：直接材料費、外注加工費等

直接費は“賦課”あるいは“直課”する

間接費 原価計算対象との間に関係があることは分かっているが、その発生額と原価計算対象との関係の特定が難しい原価

EXP：間接材料費（塗料、 그리스等）、間接部門経費等

間接費は何かしらの基準をもとに“配賦”する

(2) 費目別原価

材料費 製品の製造のために使われた物品の金額
（原材料、素材、買入部品等）

労務費 製造活動に関わった従業員の労働作業に対して発生する原価（賃金・給料、賞与、手当、福利厚生費）

経費 製造活動に関連した原価のうちで、材料費と労務費以外のもの（旅費交通費、通信費、水道光熱費、減価償却費、外注加工費、保険料等）

(3) 変動費と固定費

変動費 原価作用因（原価を発生させる原因となるもの：コストドライバー）の変化に比例して増減する原価

...売上の増減に比例して発生する原価

（直接材料費、外注加工費、燃料費、荷造運賃等）

固定費 コストドライバーの動きに関係なく、常に一定額発生する原価（労務費、減価償却費、通信費、旅費交通費等）